

施策番号	0101		
施策名	自然環境とくらしを気遣う環境の保全		
概要	優れた自然環境を後世に伝えていくため、自動車の排ガス対策等、生活環境保全に向けた取組、環境問題に対する市民の理解と行動を広げる環境学習を推進する。		
担当局・部室	環境政策局・環境企画部、地球温暖化対策室	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市自動車環境対策計画，京都市地球温暖化対策計画， 京都市環境モデル都市行動計画		

施策の評価

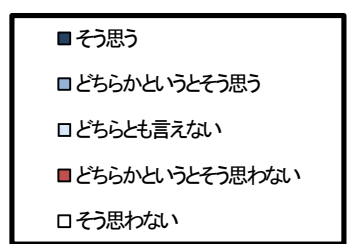
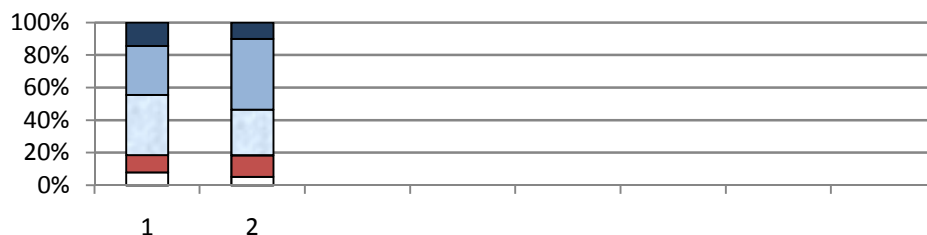
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1 エコカーの普及台数(台)	-	-	5,516	9,483	6,500	145.9%	a	1.00
2 全京都市立小学校における、こどもエコライフ チャレンジ実施率(%)	-	-	56	100	100	100.0%	a	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答 者数	評価
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない			
1 京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかがえの ないものと実感している。	79 14.3%	166 30.1%	204 37.0%	59 10.7%	44 8.0%	552	b	
2 「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい 環境が保たれている。	55 10.0%	239 43.5%	154 28.0%	73 13.3%	29 5.3%	550	b	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							b	



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 環境の保全のためには、自動車の排ガス対策としてエコカーを選択する市民や事業者が増えることが重要である。また環境学習は、環境に優しい行動が根付くことを目的とした長期的な取組であり、その成果はすぐには市民に実感されにくいことから客観指標に重みを置く。						年度	-
(原因分析) ・エコカーの普及台数は、国によるエコカー減税やエコカー補助金の実施もあり、目標値を大きく上回った。 ・子どもエコライフチャレンジは、環境モデル都市行動計画に基づき、京都市立小学校全校で実施したため、目標値を達成した。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	「世界一美しいまち・京都」の推進	38,662	34,778	良い	環境政策局
2	KYOTO地球環境の殿堂	16,418	13,804	かなり良い	環境政策局
3	子どもエコライフチャレンジ推進事業(地球温暖化対策家庭部門)	32,397	27,140	-	環境政策局
4	鴨川の自然の恵みを育む協働事業	0	5,253	-	環境政策局
5	環境保全資金融資制度	10,359	64,385	かなり悪い	環境政策局
6	次世代自動車普及促進(地球温暖化対策運輸部門)	67,818	60,756	かなり良い	環境政策局
7	身近な自然度調査	0	13,965	-	環境政策局
8	ダイオキシン類対策	30,256	34,056	かなり良い	環境政策局
9	大気汚染対策	193,537	265,424	普通	環境政策局
10	水質汚濁対策	118,030	128,959	良い	環境政策局
11	騒音・振動対策	67,368	67,290	良い	環境政策局
12	公害苦情処理及び公害防止事前相談	109,418	127,223	良い	環境政策局
13	環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」	7,396	9,773	良い	環境政策局
14	京都市環境保全活動センター(京エコロジーセンター)	160,100	157,372	良い	環境政策局
15	公衆トイレ整備	11,401	13,390	-	環境政策局
16	快適トイレのモデル導入	15,476	15,476	-	環境政策局
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・今後も市民の皆様や事業者の方々に対して、自動車の利用を控えるとともに、やむをえず利用する場合はエコカーを利用するように普及啓発を行う。
- ・環境学習を続けていくことで環境に優しい行動が根付くように努める。
- ・以上のことにより、自然環境及び生活環境の保全に努めることで市民生活実感評価の向上を図る。

施策名	0101	自然環境とくらしを気遣う環境の保全				
指標名	エコカーの普及台数(台)					
担当課	環境管理課		連絡先	213-0930		
1 指標の説明						
EV(電気自動車), PHV(プラグインハイブリッド自動車), HV(ハイブリッド自動車)及びCNG(圧縮天然ガス自動車)等の京都市内での普及台数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
環境の保全のためにエコカーの選択, 普及状況を示す指標			算出方法: 各種エコカーの台数を加算 出典: 軽乗用は(社)全国軽自動車協会連合会及び本市納税推進課, それ以外は(財)自動車検査登録情報協会の情報による			
4 数値						
	前回数値 20年度	最新数値 21年度	推移 3,967台増	目標値		
数値	5,516	9,483		数値 6,500	根拠 平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	達成度 145.9%
	全国順位	中長期目標			備考	
数値		数値 12万	目標年次 32年度	達成度 -		算定に用いるデータの収集時期の関係から, 平成21年度値が最新となる。
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a: 80%以上 b: 60%以上~80%未満 c: 40%以上~60%未満 d: 20%以上~40%未満 e: 20%未満		当該指標については, 社会・経済情勢などの影響により, EV・PHVの生産量等が不安定となる場合があり, 不確定要素が比較的多いことから, 80%以上をa, 以下20%刻みで基準を設定した。		23 a		

指標名	全京都市立小学校における, こどもエコライフチャレンジ実施率(%)				
担当課	地球温暖化対策室		連絡先	222-4555	
1 指標の説明					
次世代を担う子ども達が地球温暖化問題について自ら考え, 体験し, 家族と共に「子ども版環境家計簿」に取り組む「こどもエコライフチャレンジ」実施校数の全市立小学校数に対する割合					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
自然を気遣う社会の実現に向けた実践的な環境学習の推進状況を示す指標			算出方法: 「こどもエコライフチャレンジ」実施校数 ÷ 全市立小学校数 × 100 出典: 事業担当課調べ		
4 数値					
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移 44ポイント増	目標値	
数値	56	100		数値 100	根拠 全校実施を継続確保する
	全国順位	中長期目標			備考
数値		数値	目標年次	達成度	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a: 95%以上 b: 75%以上~95%未満 c: 55%以上~75%未満 d: 35%以上~55%未満 e: 35%未満		若い世代に対する環境教育の充実は, 未来の環境保全に大きく寄与する。また, 本事業は市内全域で実施するが, 統廃合などで事業が見送られた場合を考慮し, 95%以上をa, 以下を20%刻みで基準を設定した。		23 a	